

2021年  
令和3年8月号

# さやまだい

公民館・地区センターだより



## 【新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてのお願い】

感染力の強い変異株（デルタ株）により、感染が急速に拡大しており、これにより、現在、地域の医療機関や保健所はひっ迫した状態にあります。

狭山市でも7月末の新型コロナウイルス陽性者の週計が65人となっており、この数値だけを見ると、国が示している指標のなかで最も深刻な段階を大きく超えるものとなっています。

地域の皆様には、ワクチン接種完了後も、これまで同様、「3密の回避」、「マスクの着用」、「丁寧な手洗い・手指消毒の徹底」といった感染予防を継続していただくとともに、この夏、お子さんやお孫さんたちに会うのを心待ちにしているご家庭が多くあると思いますが、一人一人の命と暮らしを守るために、帰省及び帰省の受入は控えていただくようお願いいたします。

## 2021年「なつのおはなし会」/おはなしのろうそく

梅雨明けの晴れた7月18日（日）公民館1階ホールで恒例のおはなし会が催されました。前半はわらべ唄・手遊び・くまさんたいそうなど幼児中心、後半はおはなしたっぷりの4歳からおとなまでのプログラムで、たくさんのこどもたちが集いました（前半：こども5名・保護者6名/後半：こども12名・保護者10名）。コロナ対策ではスタッフの方々（6名）が検温、マスク、消毒などしっかりと対応されていました▼「ちいさなおはなし」「ヤギとライオン」は語り部に耳を傾け、



説明をしっかりと聞く参加者



パネルに絵を貼って読み聞かせを行う様子

「はらぺこあおむし」「トマトはトントントン」などはパネルにいっぱいカラフルな絵を貼って話がはずみます▼大型絵本の「なつのいちにち/ぼくのクワガタ」は1匹のクワガタ捕りに熱中する少年の様子が爽やかに描かれていて、おとなまでが大きな絵に魅せられていました▼最後の紙芝居は「あめたろう」という民話です。日照り続きで干上がった貧しい村を救うため懸命に頑張る主人公にみんな共感し、おはなしの世界へ引き込まれていました。

（葛西記者）

【参加者の感想】・「紙芝居がおもしろかったです」（4歳男の子）  
・「内容がいろいろあって楽しかった」（保護者女性）

## 童句翁忌句会 受賞作品発表

令和三年七月四日 選考

### 特選

こづかいで 買った二本の カーネーション 横山 きく江

### 入選

リズムよく 祖母は笑顔の 茶つみ唄 奥井 八重子  
夏の夜の 宇宙一周 僕の夢 宮崎 早苗  
竹の皮 脱いでのびのび 背くらべ 津田 都  
不揃いの とうもろこしと 僕の歯と 福浦 紀美恵  
早く来て きゅうりの馬で おばあちゃん 芝田 恵美子  
おやすみと スマホでママに 初キャンプ 渡川 誠  
スキップが 出来てちょうちょに なるつもり 宝井 孝子

### 献句

木々芽吹く 童句碑の五句 暗唱す 高田 貞子  
梅雨空に 光ひとすじ 童句翁忌 佐藤 桂子  
童句碑に 桜ふぶきの 長栄寺 木村 鈴子

投句 84句 投稿 28名  
特選1句 入選7句 佳作7句 献句3句  
ご投稿してくださった28名の皆様、ありがとうございました！

